

吊 錄

陸國通  
敬啟者

# 弔 辞

謹んで故佐竹次郎さん  
の霊に申し上げます

佐竹さんとは、ついこの間  
までしばしばお目にかかって  
おりましたので、御急逝の報  
に接し、いなく致さるゝ且つ悲  
しみには堪えられません 殊に

先日東西財界人親善野  
球大会が、後樂園で行わ  
れようとした際は、非常に御元氣  
なおお姿でありましたことか、未  
だに眼前に残っておりますのであり

まして、今日君の御霊前に  
ぬかずくことにならうとは、夢  
にも思ひませんでした

君は山梨県の御出身で、  
所謂甲州人の不屈の魂を  
胸に秘めておられるが、  
温厚、スポーツを愛好され  
た高潔な人であつた。

君は学校を卒業されると

直ちに南満洲鉄道に入社され、  
後、南朝鮮鉄道理事長、

日産生命、富国生命各  
社長等を<sup>御</sup>歴任、昭和二十八

年九月現在の昭和電工株式

会社社長に御就任になられ  
その間、日本硫酸協会理事  
長その他の要職を兼任、我  
國産業界のため多大の  
御貢献をなされたこと  
は、今更私より申すまでも  
もないところであります

君は又、経済団体連合会  
の事業に付しても、永年に亘  
つていろいろと御盡力なされ、  
当会の役員会は勿論のこと、  
輸送、金融制度、公害防止  
対策等の各委員会にもしば  
しば御出席になり、特に御仕事

の關係から、公害防止対策委  
員会には熱心に御協力を賜そ  
おつたのであります。今後は  
もう君の温顔に接することな  
てきないのたと思ひますと、誠に  
淋しく存する次第であります

我國産業界は、近特大いに  
進歩發展を遂げたとは申し  
ながら、世界情勢の進歩  
に應じ、今後は更に擴大發  
展を期せねばならない時、君  
のような温厚にして練達の人を  
失いましたことは、洵に残念な  
存ります

私に、茲に衷心より哀悼  
の意を表しますと共に故佐竹  
先生の御冥福をお祈り申上  
りて弔辞と致します

昭和二十四年十月二十六日

経済団体連合会

会長 石坂泰三